

事務事業名		生物多様性保全事業			会計	一般会計				
H27担当課等名		環境課		H27係等名	環境保全係		H26係等名	環境保全係		
基本計画上の位置づけ		政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり						
		施策	51	緑の保全と創出						
目的	対象(誰・何を)	環境省カテゴリーで絶滅危惧種IA類以上に指定されている、又は特に保護が必要と認められる場所の希少野生植物/市内の希少野生植物等/環境調査員					指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	植物単体の保全や群落の復元を図る/調査による市内の希少野生植物等の把握と環境調査員(環境チェッカー)の育成・レベルアップを図る					対象指標		盗掘やニホンジカによる食害等で、著しく減少している群落または個体数	
	向上させたい上位施策の成果指標	指標動植物の観察数					対象指標		市内の希少野生植物等/環境調査員	
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	ギフチョウの保全			1	1	1	1		
	成果指標	希少野生植物の確認数(種類、個体数)			0	0	0	0		
	定性目標	絶滅が危惧されている希少生物の保護等をすすめ、生物多様性の保全に努める。								
事業概要	絶滅危惧に指定される希少野生植物の保全									
	1 環境省カテゴリーで絶滅危惧種I類以上に指定されているなど、絶滅が危惧されている植物の自生地をシカの食害等から守るため、シカよけの防護柵などを設置するための資材の購入									
	2 「ヤシャイノデ保全の会」などを中心にボランティア活動で防護柵を設置する									
	3 目標として約20年前の状況(部分的に下層植生はヤシャイノデ等が覆う状況)まで復活させる									
	4 次期環境基本計画策定に向けて希少野生植物の調査を行う									
	5 伊那谷自然友の会などの専門分野の方を講師として環境調査員(環境チェッカー)の育成・レベルアップを図る									
6 ギフチョウの保全用資材購入										
26年度事業内容	事業内容					名称		活動指標		
	1 必要に応じて、生物多様性を保全するための措置を講ずる					1 箇所数(面積)		1箇所		
	2 伊那谷自然友の会などの専門分野の方を講師として環境調査員(環境チェッカー)の育成・レベルアップを図る					2 回数		2回		
	3 外来生物等、生物多様性に関する情報提供を行う					3 回数		1回		
	4 生物多様性自治体ネットワークを活用した情報収集					4 回数		1回		
	5 ギフチョウの保全用資材購入					5 回数		1回		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		25	85	67	85					
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他										
一般財源		25	85	67	85					
人件費計(千円)②		358		36						
正規職員所要時間		100		10						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		383	85	103	85					
事業内容・目標達成状況の振り返り		生物多様性自治体ネットワークへ参加し、情報収集、当市の情報発信を行った。希少動植物群落の保全用資材支給を行っている。								
改革改善の考え方	①問題点	自然環境の保全では、防護柵の設置を進めることは自然環境に対する善し悪しの二面性がある。								
	②改革提案	成果指標を防護柵設置箇所数とすることについては検討を要する。								